

CHOFU

石油瞬間給湯器
高圧力型石油瞬間給湯器

エコフィール 本体取扱説明書 (保証書付)

型名

石油瞬間給湯器
〔石油小形給湯機〕

EH1-3866F

EH1-3866S

EH1-3866SG

EH1-4566S

EH1-4566SG

EH1F-3866SG

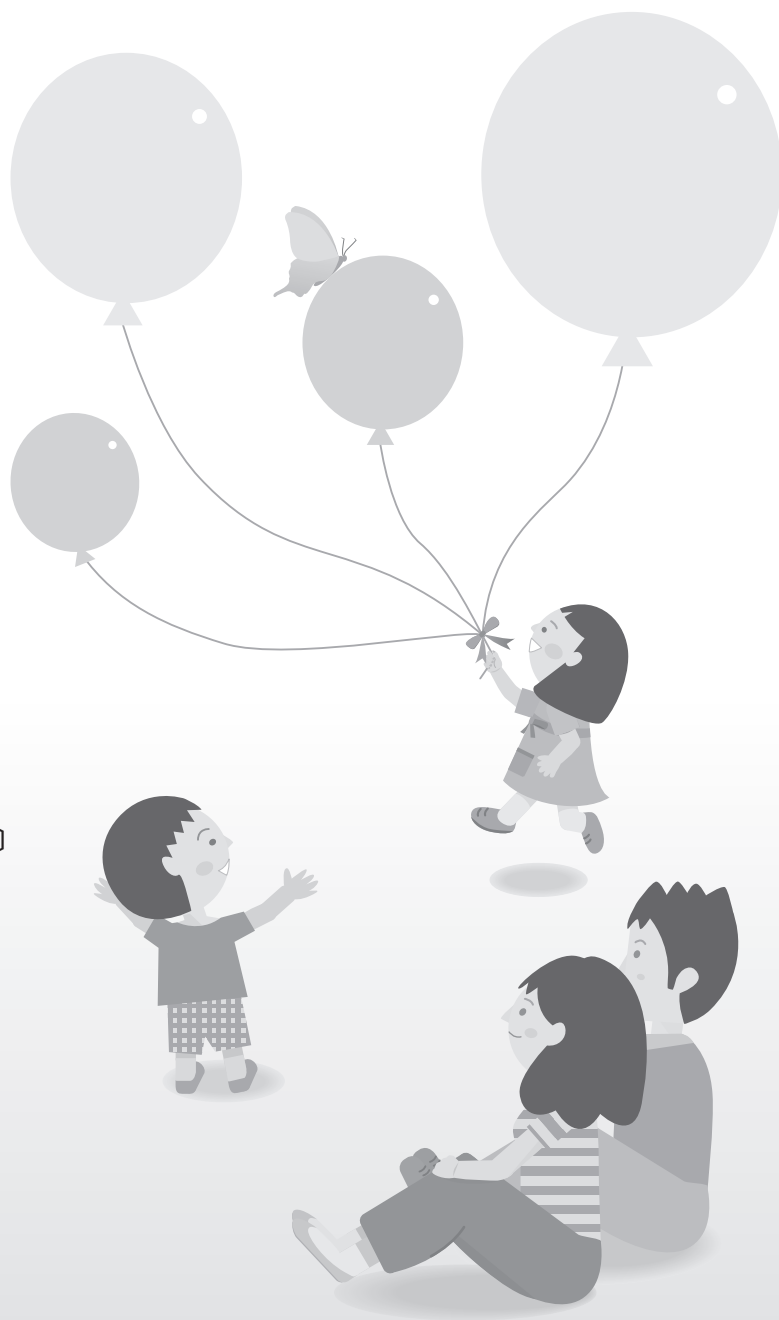
EH1F-4566SG

高圧力型石油瞬間給湯器

〔高圧力型石油小形給湯機(温水ボイラー)〕

EH1-4566SGH

EH1F-4566SGH



ご使用前のお願い

- 本書にはリモコンの操作説明は記載されていません。
リモコンに付属している「取扱説明書」と併せてお読みください。

このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この機器は、消費生活用製品安全法の『特定保守製品』に指定されています。
ご使用前に、『所有者票』(製品に添付)を返送していただき、所有者登録を行ってください。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

取扱説明書をお読みになる前に

機器の排気タイプ・能力タイプ・給湯方式 および、リモコンのタイプを確認してください。



本書では必要な項目で機器の排気タイプ・能力タイプ・給湯方式および、リモコンのタイプを記載して説明しています。
☐ (太枠) 内に英数字や ☒ (チェックマーク) を記入しておくと、今後お読みになるときに役立ちます。

1 機器前パネルの銘板に表示している型名を確認してください。



2 型名から以下の表で排気タイプ・能力タイプ・給湯方式を確認してください。

型名: EHI ☐ - ☐ 66 ☐

英字 (なし または F) 数字 (38 または 45) 英字 (1~3文字)

能力タイプ

38	☐ 38タイプ
45	☐ 45タイプ

給湯方式

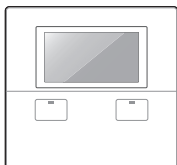
Hが入っている	☐ 高圧力型
Hが入っていない	☐ 標準圧力型

排気タイプ

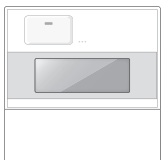
Fが入っている	Fが入っている	左以外は排気筒の形状を確認する	
☐ 前面排気タイプ	☐ 強制給排気タイプ	☐ 強制排気タイプ	☐ 無煙突タイプ

3 ご自宅の台所リモコンでリモコンのタイプを確認してください。
(スイッチの形が特徴となります。)

☐ 音声リモコン



☐ カンタンリモコン



ご使用の前に	取扱説明書をお読みになる前に	2
	特に注意していただきたいこと	4
	各部の名称(外観図)	11
	ご使用前の準備と確認	
	(燃料)	13
	(給油)	13
	(灯油残量表示機能について)	14
	(油切れ予告装置について)	14
	(点火前の準備と確認)	15
	冬期の凍結による破損防止について	
必要なときに	(凍結予防)	16
	(水抜き後の再使用のとき)	18
	(凍結したとき)	20
	長期間使用しない場合	20
	日常の点検・手入れ(点検・手入れの必要事項、時期、方法)	21
	定期点検	25
	法定点検	25
	故障かな?と思ったら	
	(修理を依頼する前に)	26
	(安全装置)	28
	(その他の装置)	28
	(エラーコード)	30
	部品交換について	33
	仕 様	34
	据付け	36
	試運転	36
	保証書	巻末
	アフターサービス	裏表紙

「リモコンの操作方法と機能設定」はリモコンに付属している
取扱説明書で説明しています。

困ったときは？

凍結を予防したい

▶ 16・17ページ

地震や火災が起きた！

▶ 6ページ

お手入れは
どうしたらいいの？

▶ 21～24ページ



給湯器の動きが
いつもと違う

▶ 26～28ページ

リモコンにエラーコード
を表示している！

▶ 30・31ページ

特に注意していただきたいこと

●本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

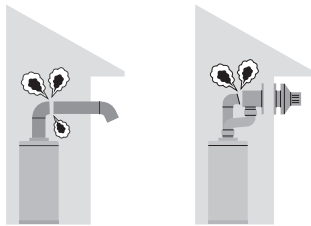
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。	 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。		

警告

●排気筒・給排気筒はずれ危険 (屋内設置の場合)

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

排気筒や給排気筒(管・ホース)がはずれたまま使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

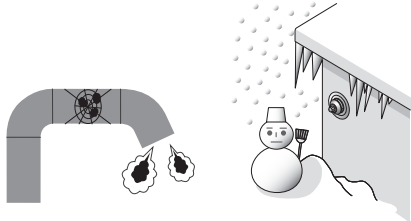


●排気筒・給排気筒閉そく危険 (屋内設置の場合)

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

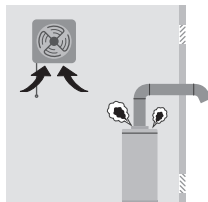
排気筒や給排気筒(管・ホース)がつまったり、ふさがれたまま使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

積雪の多い地方などでは、給排気筒トップの周りが雪や氷柱(つらら)でふさがれたまま使用しないでください。ふさがれているときは除雪してください。



●換気扇の同時使用禁止 (強制排気タイプで屋内設置の場合 2ページ)

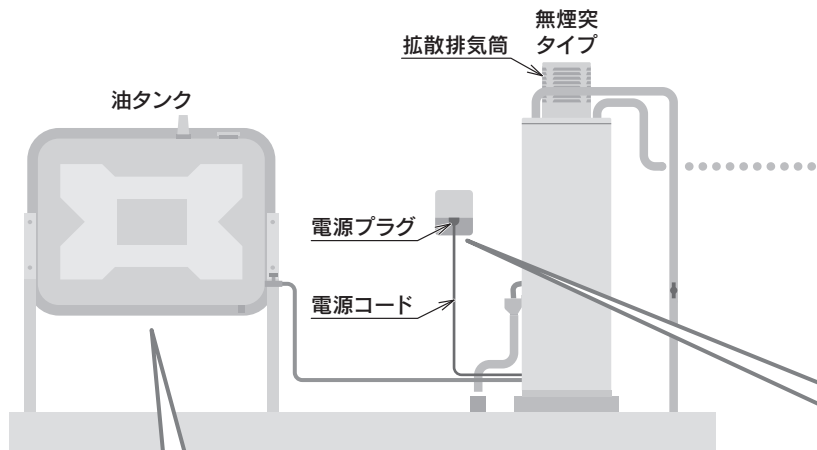
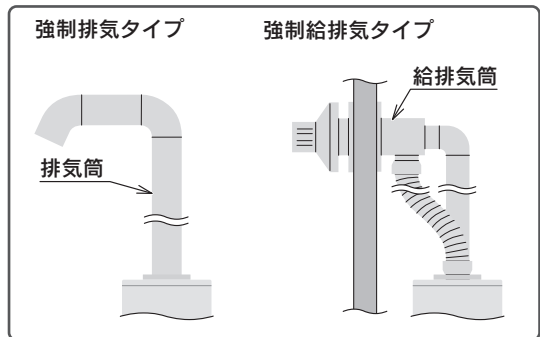
機器を設置した室内に換気扇が設置されている場合、燃焼中に換気扇を使用すると、排ガスが逆流して火災や事故の原因になります。換気口が設置されていてもリモコンの運転スイッチが「入」のときは、換気扇を使用しないでください。



●家庭用以外の使用禁止

(高圧力型の場合 2ページ)

この機器は家庭用です。業務用に使用すると法令違反になります。



●ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



●お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	禁止 「してはいけない」内容です。		実行 「しなければならない」内容です。
---	----------------------	---	------------------------

	ガソリン厳禁		濡れ手禁止		分解禁止		接触禁止		一般的な警告・注意
	高温注意		感電注意		アースを接続する		電源プラグを抜く		

高温注意

●シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変えない

使用者以外の人がお湯の温度を変えたり、リモコンの運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切換えたりすると、突然熱湯や冷水が出て、やけどや思わぬ事故の原因になります。



●お湯を使用中は温度変化に注意する

以下の場合は一時的に熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

- ・お湯を止めた後に再使用するとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・他の場所で大量に水を使用したとき



●入浴時やシャワー使用時は必ず手でお湯の温度を確かめる

(やけどのおそれ)



●改造・分解禁止

(火災・感電・漏電などの思わぬ事故の原因)
絶対に改造や分解は行わないでください。
改造や分解は機器の安全性を損ないます。



●電源コードは切断して延長しない

(火災・感電・発熱の原因)

電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

地震や火災などの緊急時の処置



1. すぐに使用を中止し、リモコンの運転スイッチを「切」にする
2. 送油バルブ・給水元栓を閉める
3. 電源プラグを抜く
4. 機器の損傷を確認し、お買い求めの販売店に連絡する

●家庭用以外の使用禁止

(標準圧力型の場合 **2ページ**)

(思わぬ事故や故障の原因)

この機器は家庭用です。家庭用以外に使用すると保証の対象外になります。



●ゴム製送油管の点検・交換をする

(強制給排気タイプ・強制排気タイプで屋内設置の場合 **2ページ**)



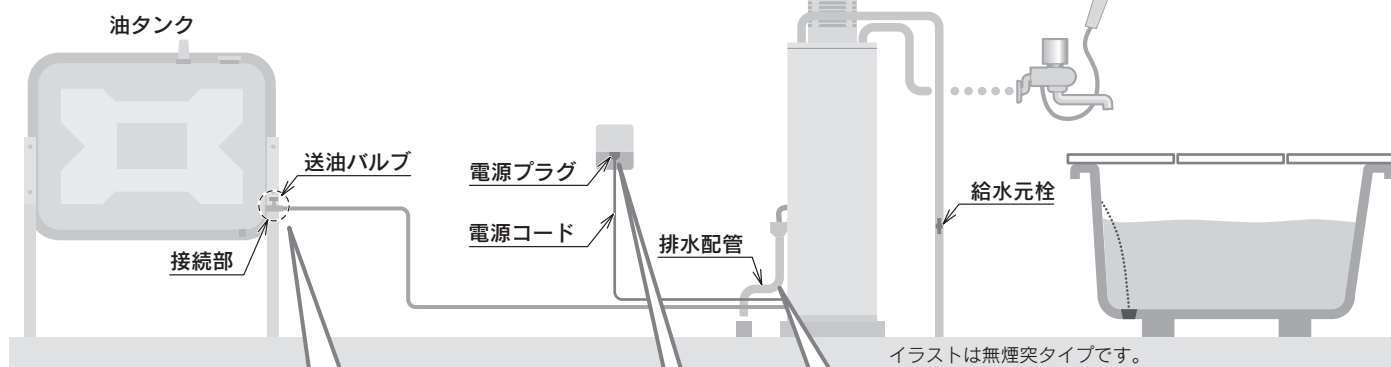
屋内に設置してゴム製送油管を使用している場合、ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しいものに交換することをおすすめします。交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。

●おふろのふたに乗ったり手をついたりしない



ふたがはずれておぼれたり、やけどなど思わぬ事故の原因になります。

前面排気タイプ以外



●油漏れに注意する

(火災の原因)

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れがないことを確認してください。



●排水配管から排出される水を飲用・飼育用などに使用しない

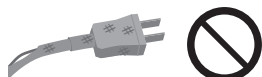
(健康を害するおそれ)



電源コード、電源プラグ、アースについて

●傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使わない

(火災や感電の原因)



●電源コードに無理な力を加えない

(火災や感電の原因)

- ・無理に曲げない
- ・引張らない
- ・ものを載せない
- ・衝撃を与えない



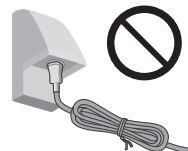
●電源コードを引張って電源プラグを抜かない

(火災や感電の原因)



●電源コードは束ねたまま使用しない

(火災や発熱の原因)



●傷つけたり、破損させたりしない

(火災や感電の原因)



●電源プラグを抜いて停止させない

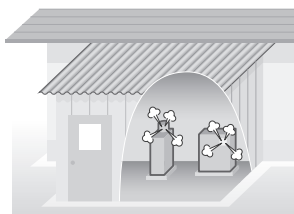
(火災や故障の原因)



囲い禁止(屋外設置の場合)

(不完全燃焼や火災の原因)

- 設置後、増改築などにより屋内状態にしない
- 機器や排気部などを波板やビニール、工事に使用した養生シートなどで囲わない
- 外壁工事などで機器全体が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない



イラストは前面排気タイプと無煙突タイプです。



使用上の注意

- 給湯・シャワー以外には使用しない

(思わぬ事故の原因)



- 機器内のお湯を排水するときはやけどに注意

機器内のお湯を排水するときはやけどに注意してください。熱湯が排水されることがあります。

運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。



- 純正部品以外は使用しない

(事故や故障の原因)



- 機器の設置・移動・取りはずしおよび付帯工事は、必ずお買い求めの販売店に依頼する

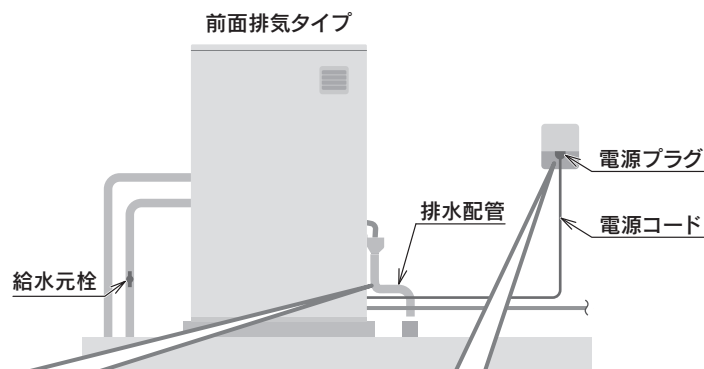
(火災・感電・事故の原因)



- 長期間使用しないとき

(火災や思わぬ事故の原因)

「冬期の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。 **17ページ**



- 電源プラグを濡れた手で触らない

(感電するおそれ)

雨が降っているときは電源プラグの抜き差しをしないでください。



- 電源プラグは確実に差し込む

(火災・感電・発熱の原因)



- 電源プラグのほこりは定期的にふきとる

リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。ほこりを乾いた布でふきとってください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



- アースを確認する

(感電するおそれ)

この機器はアースが必要です。アースが接続されてない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。



子どもに注意する

(思わぬ事故の原因)



- 子どもを浴室で遊ばせない
- 子どもだけで入浴させない
- 子どもを機器の周囲で遊ばせない



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

異常・故障時使用禁止

(事故の原因)

1. 以下の場合はすぐに使用を中止する

- ・ 点火しない、機器が使用中で消火した
- ・ 使用中に異常な臭気・音・温度を感じた
- ・ ススが出る
- ・ 油が漏れている

2. 「故障かな?と思ったら」に従い処置を行う **26~31 ページ**

3. 処置を行っても直らない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店に連絡する



可燃物禁止

● 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かない

(火災の原因)

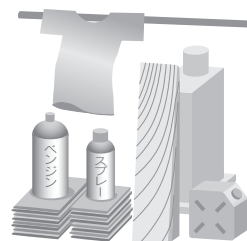
新聞紙・灯油・木材・洗濯物などを置かないでください。

● 機器の上や周囲に引火性危険物を置いたり、使用したりしない

(爆発や火災の原因)

引火性危険物とは、ガソリン・ベンジン・スプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどです。

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどは熱で缶の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。



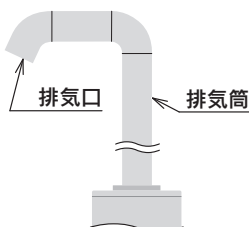
高温部接触禁止

● 燃焼中や消火直後は高温部(機器・排気筒・給排気筒・拡散排気筒・排気部)に手など触れない

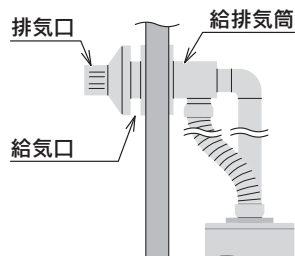
(やけどのおそれ)



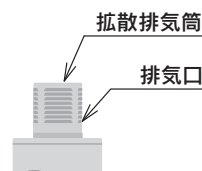
強制排気タイプ



強制給排気タイプ



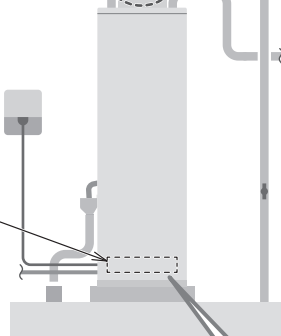
無煙突タイプ



前面排気タイプ

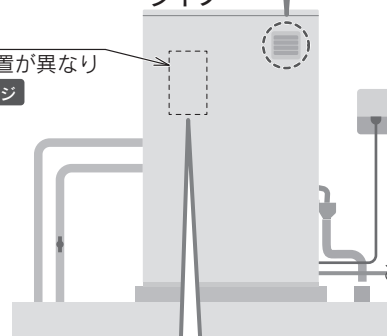


前面排気タイプ以外



給気部
(側面・後面または後面)
機種により位置が異なります。 **11 ページ**

前面排気タイプ



給気部(後面)
機種により位置が異なります。 **12 ページ**

● 給気部や排気口に指や棒を入れない

(けがや事故の原因)



お願い

停電時の注意

●停電復帰後はリモコンの運転スイッチを「入」にする

停電すると運転が停止します。停電復帰後はリモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。現在時刻を表示していない場合は、現在時刻の設定を行ってください。**リモコン取扱説明書参照**

●冬期に停電したとき

凍結により機器が破損するおそれがありますので、「冬期の凍結による破損防止について」の「じゃ口から水を流す方法」または「機器内の水を抜く方法」を参考にして凍結予防を行ってください。ただし、「機器内の水を抜く方法」を行う場合は停電中のためリモコンの操作はできません。リモコン操作以外の処置を行ってください。**16・17ページ**

断水時の注意

●断水したときは運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、断水復帰後に水が流れ続けます。

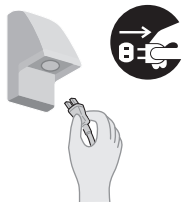
●断水復帰直後のお湯は飲用や調理に使用しない (健康を害するおそれ)

飲用や調理に適さない水が配管にとどまることがありますので、断水復帰後は給湯栓を開けて充分水を流してから使用してください。

雷発生時の注意

●雷が鳴りはじめたらリモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがあります。



●雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込む

(感電するおそれ)

濡れた手で電源プラグを触らないでください。



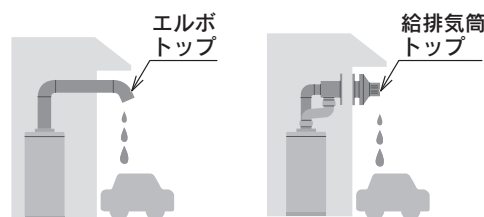
使用上の注意

●機器の近くに電気器具を置かない

テレビの映像が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。

●エルボトップや給排気筒トップの真下にものを置かない

エルボトップや給排気筒トップから排ガス中の水分が結露して滴下することがあります。真下にものなどを置かないでください。



●点検・整備のためのサービススペースを確保する

前パネル側は必ず60cm以上あけてください。

工事説明書参照

●高地で使用するときはご相談ください

(燃焼不良の原因)

標高1,000~1,300mの高地で使用するときはお買い求めの販売店にご相談ください。

標高1,300mを超える場所では使用できません。

●水道水を使用する

(高圧力型の場合 **2ページ**)

給水には水道水を使用してください。

高圧力型は水道水以外を使用してはいけません。

●地下水・井戸水使用時の注意

(標準圧力型の場合 **2ページ**)

水道水の使用をおすすめしますが、地下水や井戸水も使用できます。

ただし、地下水や井戸水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する故障修理は、保証期間内でも有料になります。

●温泉水は使用しない

(標準圧力型の場合 **2ページ**)

温泉水を使用すると、水質によっては故障することがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

特に注意していただきたいこと

お願い

積雪時の注意

●点検・除雪を行う

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。
雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。

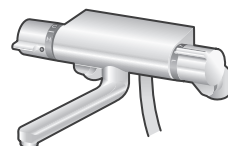


混合水栓について

●通水抵抗が少ないもの、シャワーヘッドの圧力損失が少ないものを使用する
(出湯量が少なくなる可能性)

●水圧が低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しない

●サーモスタット付混合水栓の使用を推奨
(やけど防止)



以下の場合取扱説明書に従って処置を行う

●リモコンにエラーコードを表示したとき

30・31ページ

(火災や事故の原因)

処置を行わないで何度もリセットを繰り返さないでください。

●凍結のおそれがあるとき

16・17ページ

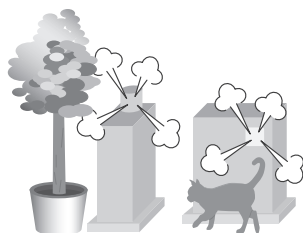
冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
凍結により機器が破損した場合の修理は保証期間内でも有料になります。

機器内のお湯(水)について

●機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は、飲用や調理に使用しない
(健康を害するおそれ)
雑用水として使用してください。

排ガスについて

●植物やペットなど、排ガスによって悪影響を受けるものを周囲に置かない



●排ガスを直接、建物の外壁・窓・ガラス・アルミサッシや塗装部分にあてない
(変色・破損・腐食の原因)

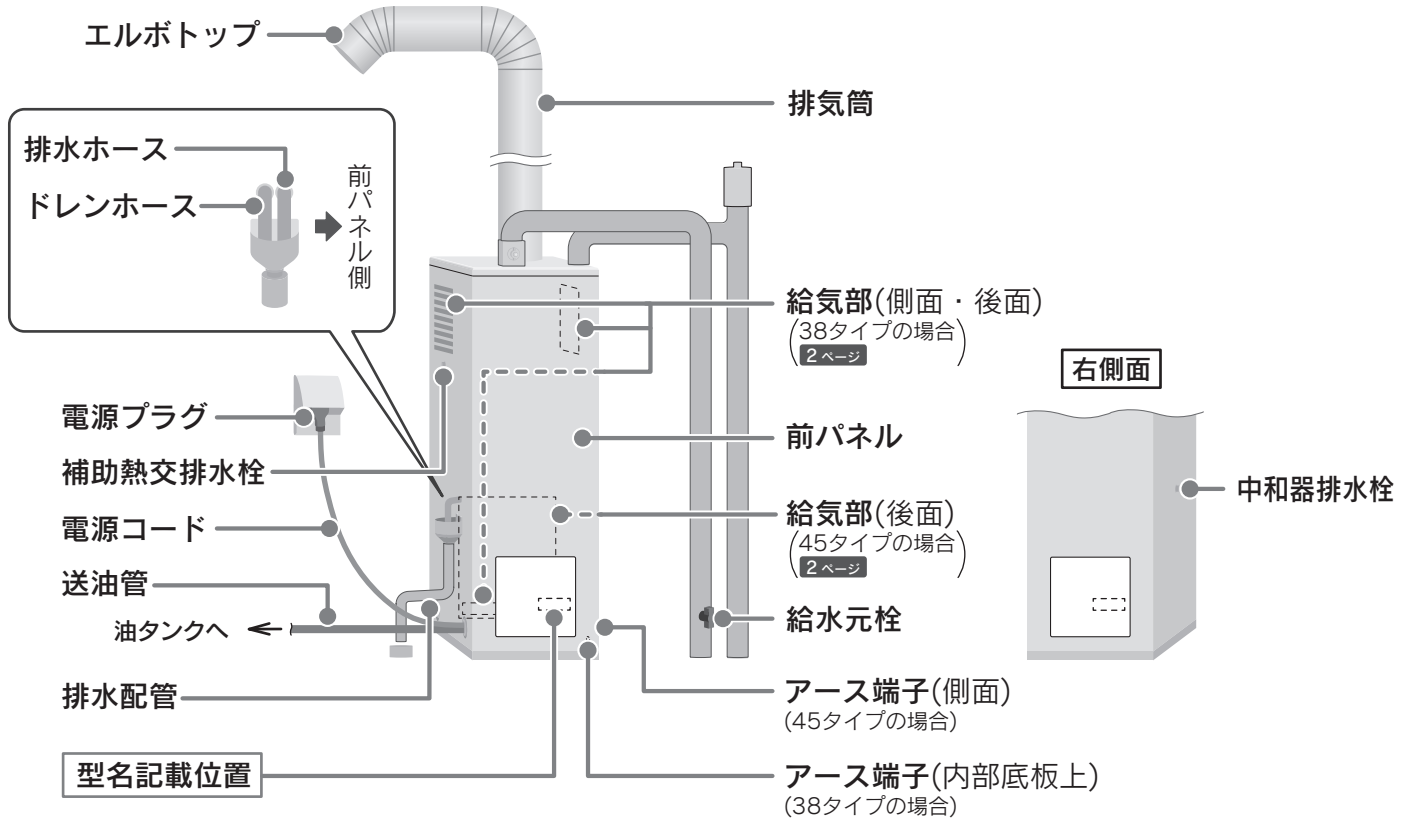
各部の名称

外観図

イラストはイメージです。

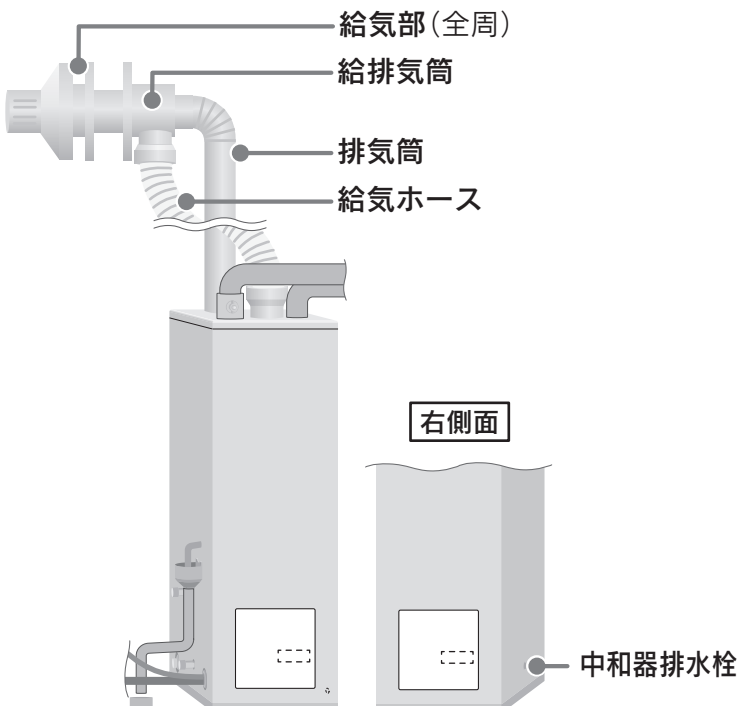
強制排気タイプ(屋内外設置) 2ページ

※排気筒(エルボトップ)取付時



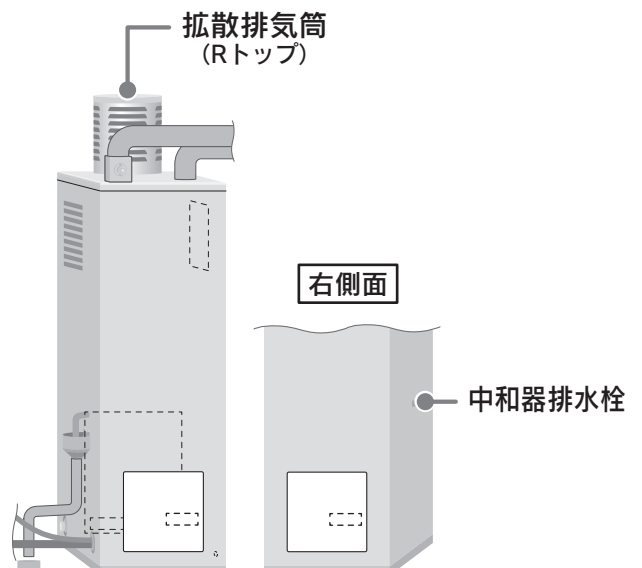
強制給排気タイプ(屋内設置) 2ページ

※給排気筒取付時



無煙突タイプ(屋外設置) 2ページ

※拡散排気筒(Rトップ)取付時

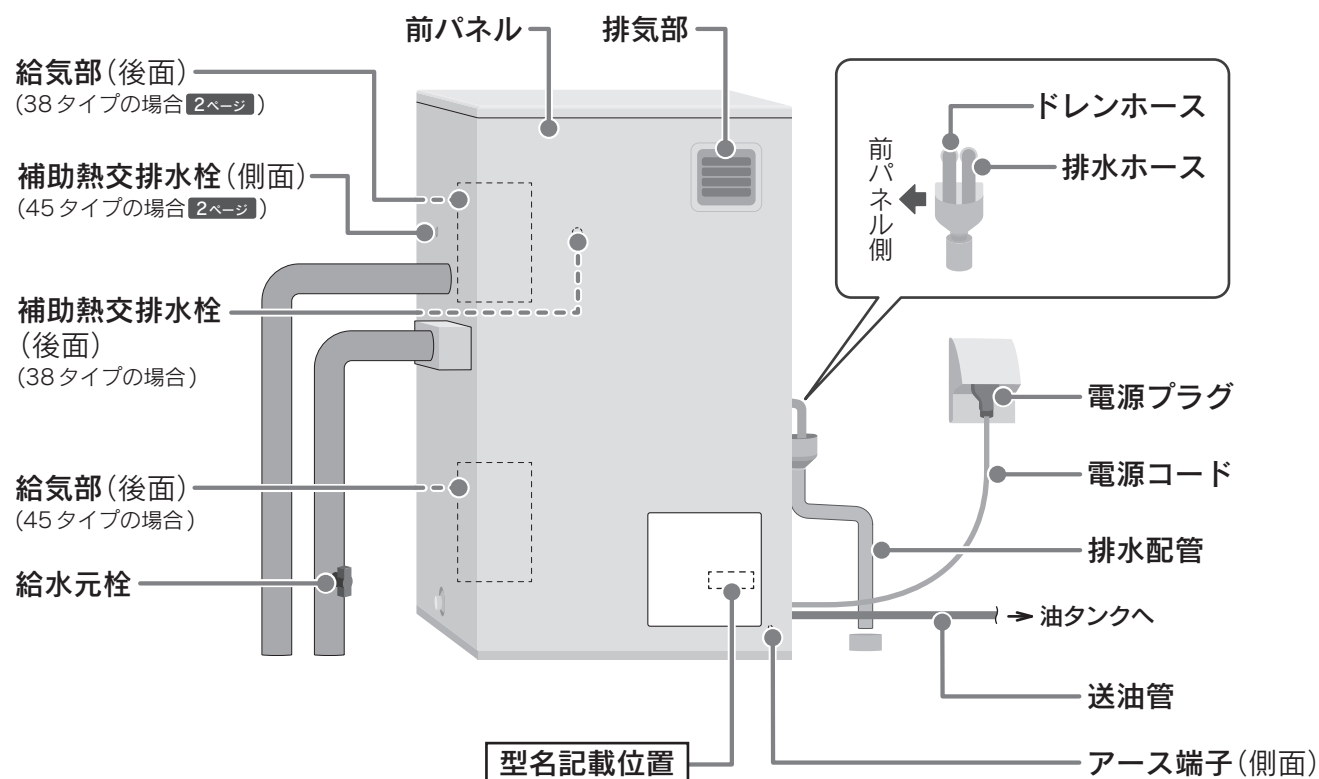


使用前に

必要ときに

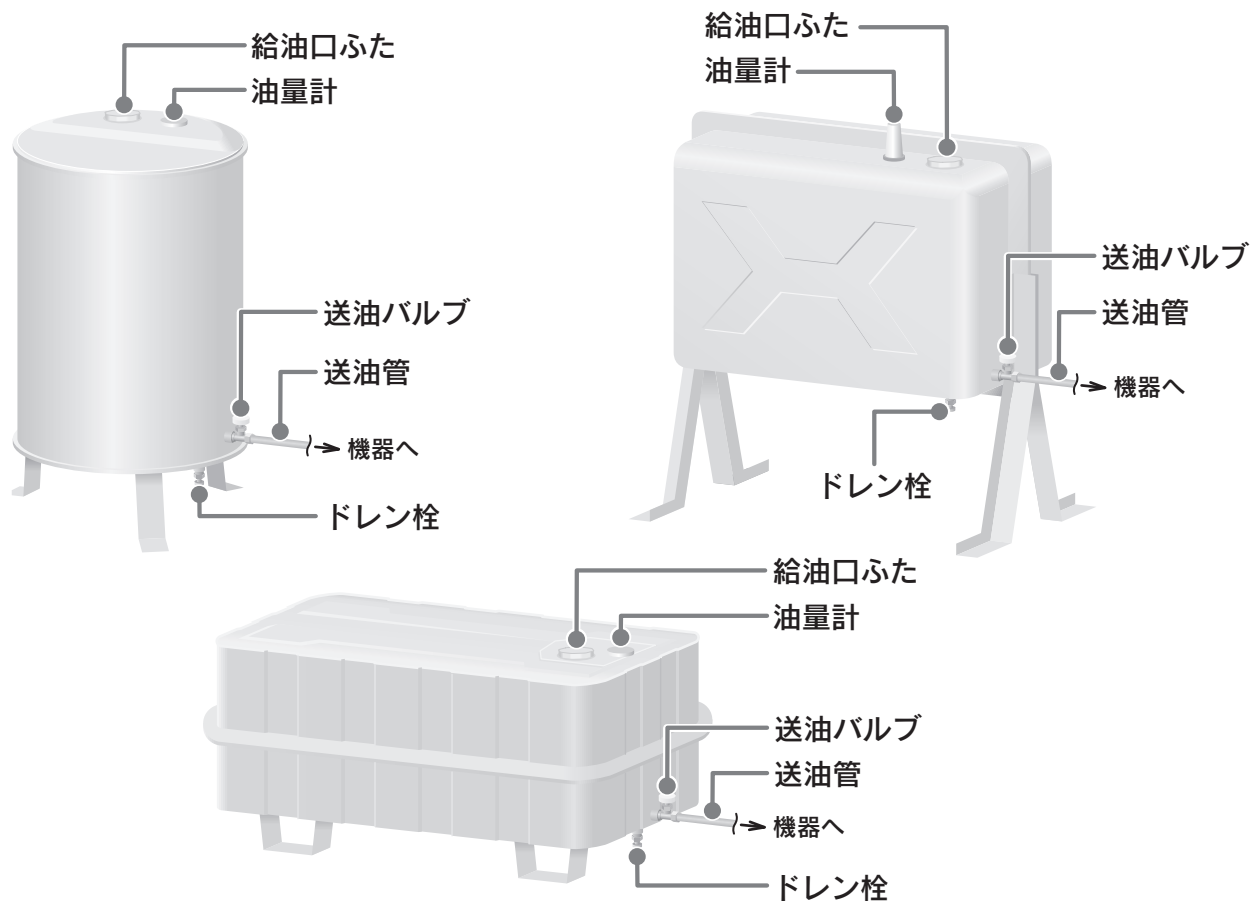
各部の名称

前面排気タイプ(屋外設置) 2ページ



油タンク(別売部品)

- 別売の油タンクは3種類の形状があります。
(部品の位置は油タンクにより異なります。)



ご使用前の準備と確認

燃料

警告

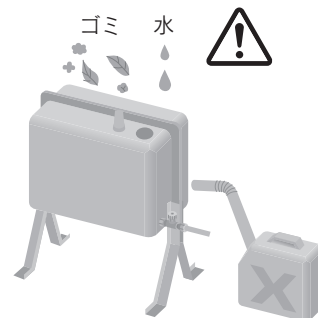
●ガソリン・ベンジン・シンナー・重油・軽油やその他のものが混入した灯油は火災や故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

●燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

給油

給油の際の注意

- 必ずリモコンの運転スイッチを「切」にしてから行ってください。
- 水やゴミなどが入らないように特に注意してください。
- 給油後は給油口ふたを確実に閉め、灯油がこぼれたときはふきとってください。



燃料切れに注意

注意

●頻繁に燃料切れを起こしリセットを繰り返すと、バーナーの性能低下によりススが出て、建物の壁などを汚すおそれがあります。

●燃料切れを起こさないように、こまめに油タンクの油量計を確認して早めの給油を心がけてください。

燃料切れをしたときは

給油してください。すぐに給油できないときは、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

●リモコンに「110」または「120」のエラーコードを表示します。 **30・31ページ**

給油後にリセットすると、送油経路の空気が抜けて燃焼を再開します。

(送油経路の空気が抜けるまでは振動音が出たり、リモコンに「110」または「120」のエラーコードを表示して停止したりしますが故障ではありません。連続燃焼するまでリセットを行ってください。)

■リセットの方法

リモコンの運転スイッチを「切」にしてから再度「入」にします。

2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

約8回リセットを繰り返すと、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。

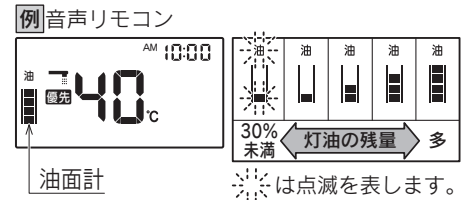
ご使用前の準備と確認

灯油残量表示機能について

- 油タンクにこの機器のみを接続している場合に使用できます。
- リモコンで機能を設定すると、台所リモコンで給油の時期を確認することができます。
(別売の「油切れ予告装置」を取付けている場合は、設定できません。)

灯油残量表示を設定したとき

- 台所リモコンに灯油残量のめやすを5段階で表示し、残り30%未満になると目盛の点滅と音声またはブザーでお知らせします。
- 設定はリモコンに付属の「取扱説明書」の「灯油残量のめやすを表示する」をご覧ください。

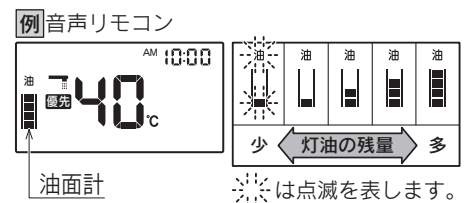


油切れ予告装置(別売部品)について

- 油タンクに複数の機器を接続している場合でも使用できます。
- 油切れ予告装置を取付けると台所リモコンで給油の時期を確認することができます。
- 油切れ予告装置は「OC-5」と「OC-31」の2種類あります。

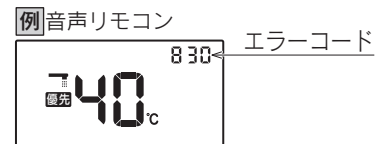
OC-5を取付けたとき

- 台所リモコンに油面計を表示させ、油タンク内の灯油の残量を5段階で表示します。
- 油面計の1段目が点滅すると、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。
「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。
- 設定は油切れ予告装置に付属の説明書をご覧ください。



OC-31を取付けたとき

- 灯油の残量が少なくなると、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。(OC-31は油面計を表示しません。)
「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。



点火前の準備と確認

1 機器および周囲の確認をする

機器本体・排気筒・給排気筒・拡散排気筒・排気部・油タンクの上や周囲に燃えやすいものや引火性危険物、また排ガスによって悪影響を受けるものを置かないでください。 **8・10ページ**

給気口・排気口・給気部がふさがれていないことを確認してください。

21ページ



※イラストは前面排気タイプと無煙突タイプです。

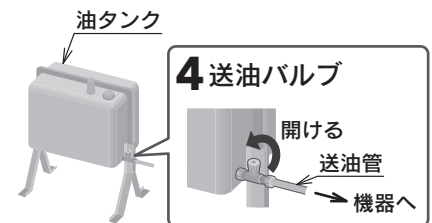
2 給水元栓を開ける

機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。

3 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉める

4 油タンクの送油バルブを開ける

油タンクや送油管の接続部などから油漏れがないことを確認してください。

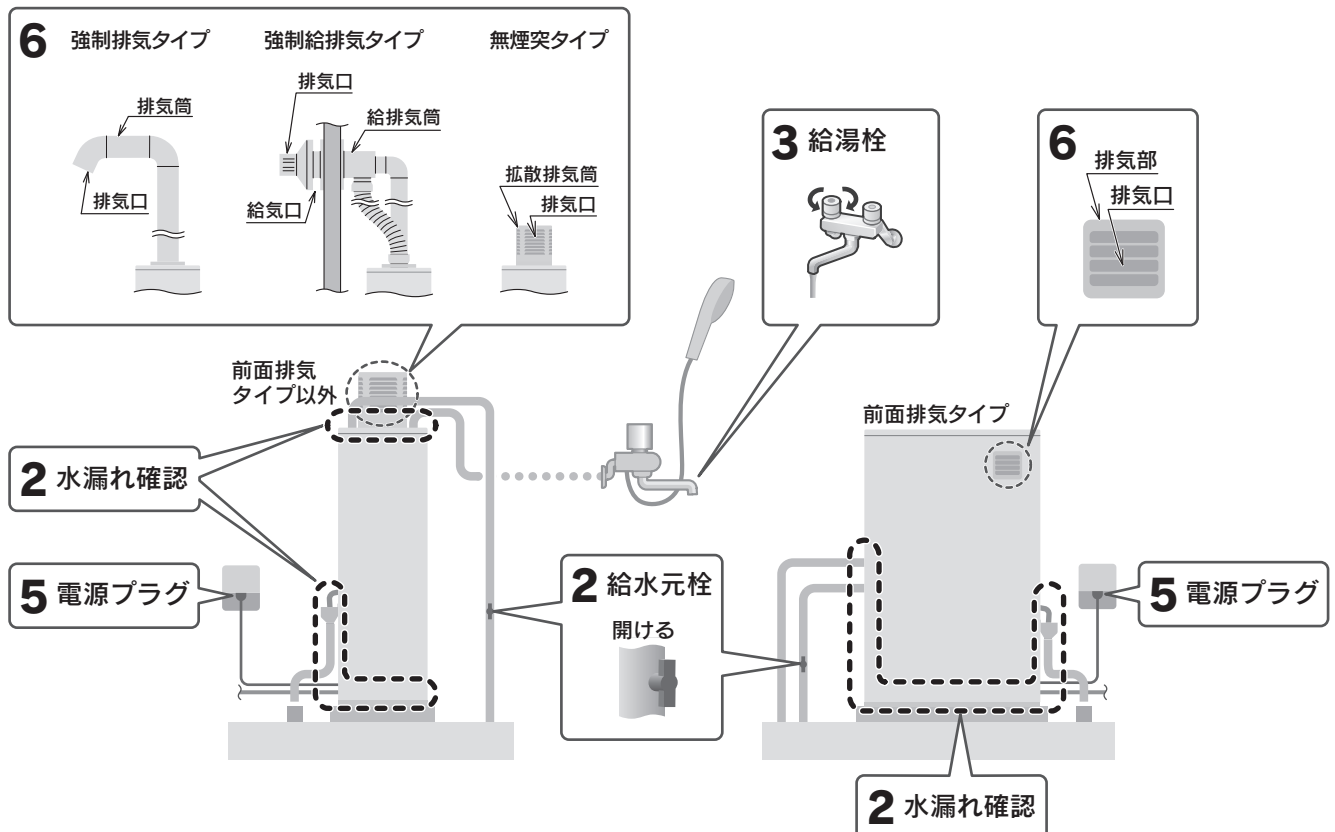


5 電源プラグを差し込む

この機器はAC100Vです。200Vに接続すると機器が破損します。

6 排気筒(屋内設置の場合)・給排気筒の確認をする

排気筒や給排気筒の接続部に緩みやはずれがないことを確認してください。緩んでいるときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。



冬期の凍結による破損防止について

- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
(凍結により機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。)

凍結予防

凍結予防には「バーナーを運転させる方法」、「じゃ口から水を流す方法」、「機器内の水を抜く方法」があります。

バーナーを運転させる方法

冷え込みが厳しいときはバーナーを運転させ、機器内の給水経路の凍結を予防します。

1 給湯栓を閉める

2 リモコンの運転スイッチを「入」にする

3 給湯温度を 1 段 (38 タイプの場合 **2 ページ**) または、32℃ (45 タイプの場合 **2 ページ**) に設定する

特に冷え込みが厳しいと予想される日は、給湯温度を 7 段 (38 タイプの場合) または、70℃ (45 タイプの場合) に設定しリモコンの燃焼表示が消灯するまで燃焼させたのち、1 段 (38 タイプの場合) または、32℃ (45 タイプの場合) に設定してください。

お知らせ

- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんので十分に保温してください。
- バーナーを運転する前に凍結していないことを確認してください。凍結したまま運転すると機器が破損するおそれがあります。
(リモコンの運転スイッチを「切」にして給湯栓を開けてください。お湯が出れば凍結していません。)
確認後、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

じゃ口から水を流す方法

冷え込みが厳しく風が強いときは、じゃ口から少量の水を流して給水・給湯配管やバルブなどの凍結を予防します。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする ※運転スイッチが「入」のとき

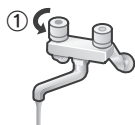
2 給湯栓を開ける

じゃ口から毎分約 400cc (約 4mm) の水を流したままにします。



●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに戻す

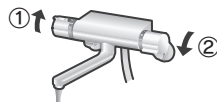
②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

3 約 30 分後に水の量を確認する

流量が不安定なことがあるため確認を行います。

お知らせ

- 屋内 1 箇所のじゃ口から水を流してください。
お風呂に水を流すと洗濯などの雑用水として使用できますのでムダになりません。
(お風呂にじゃ口が届かない場合は、じゃ口で流量を確認した後、シャワーに切換えてお風呂に流してください。)
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカを「切」にしたりと凍結予防装置が作動しませんので、注意してください。

機器内の水を抜く方法(冬期に長期間使用しないとき)

長期間使用しないときや電源プラグを抜くときは、この方法で行ってください。
この方法では配管やバルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。



警告

●機器内のお湯を排水するときは運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。熱湯が排水されることがありますのでやけどに注意してください。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする

2 2分間以上経過してから電源プラグを抜く

3 給水元栓を閉める

4 缶体排水栓(バルブ)を開ける

5 すべての給湯栓(シャワーなどを含む)を開ける

〔減圧水出口(※1)から配管されている場合は、配管先の給水栓も開ける〕

6 補助熱交排水栓・中和器排水栓を開ける(※2)

7 水フィルタをはずす(※2・※3)

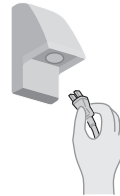
〔水フィルタがついていない機種(※4)は逃し弁のレバーを上げる

減圧水出口(※1)に減圧水出口排水栓(※5)がついている場合は、減圧水出口排水栓も開ける

水抜き終了後、水フィルタは次にお使いになるまではずしたままにしてください。

(なくさないように注意してください。)

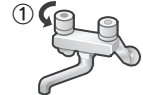
(また、水フィルタのフィルタを変形させたり、Oリングやゴムパッキンに傷をつけないように注意してください。)



5 給湯栓

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいにする

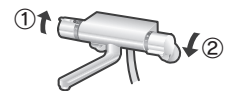
②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。
水栓メーカーにより形状が異なります。

※1 減圧水出口は EHI-3866SG・EHIF-3866SG にあります。 **2ページ**

※2 水が出ますので、機器を屋内に設置している場合は受皿などを準備して水を受けてください。
(出てくる水の量は機器内の残水や配管などの条件によって異なります。)

※3 水フィルタは EHI-3866F と EHI-3866S 以外についています。 **2ページ**

※4 EHI-3866F・EHI-3866S **2ページ**

※5 減圧水出口排水栓は減圧水出口から配管されていない場合についています。

補助熱交排水栓 開ける

6 機種により位置が異なります。 **12ページ**



減圧出口排水栓(※5)

(機器後面)

7 減圧水出口(※1)

開ける



水フィルタ(※3)

7 フィルタ

ははずす



減圧水出口排水栓(※5)

7 減圧水出口(※1)

開ける



補助熱交排水栓

6 開ける



前面排気
タイプ以外

逃し弁のレバー

(※4)

7 上げる



中和器排水栓

6 開ける

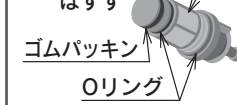
機種により位置が異なります。 **11ページ**



水フィルタ(※3)

7 フィルタ

ははずす



前面排気
タイプ

缶体排水栓(バルブ)

4 開ける



中和器排水栓

6 開ける



お知らせ

●再使用するときは「水抜き後の再使用のとき」に従ってください。 **18ページ**

●5で開けた給湯栓は、再使用するときまで開けたままにしてください。

使用前に

必要ときに

冬期の凍結による破損防止について

水抜き後の再使用のとき

1 缶体排水栓(バルブ)を閉める

2 水フィルタ(※1)を取付け、補助熱交排水栓と中和器排水栓を閉める

〔逃し弁のレバーを上げた場合(※2)はレバーを下げる〕
減圧水出口排水栓(※3・※4)を開けた場合は閉める

3 給水元栓を開ける

4 すべての給湯栓から水が出ることを確認して閉める

〔減圧水出口(※4)から配管されている場合は、配管先の給水栓からも水が出ることを確認して閉める〕

水が出にくい場合は凍結していることがありますので、水が正常に出るようになってから運転してください。

確認せずに使用すると機器が破損することがあります。

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける / 閉める



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱい回す
②給湯栓を開ける / 閉める



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする
②給湯栓を開ける / 閉める



イラストはイメージです。
水栓メーカーにより形状が異なります。

5 中和器へ呼び水をする (強制給排気タイプのみ 2ページ)

「中和器への呼び水」に従ってください。 19ページ

6 電源プラグを差し込む

7 「点火前の準備と確認」(15ページ)とリモコンに付属している取扱説明書に従って使用する

※1 水フィルタは EHI-3866F と EHI-3866S 以外についています。 2ページ

※2 EHI-3866F・EHI-3866S 2ページ

※3 減圧水出口排水栓は減圧水出口から配管されていない場合についています。

※4 減圧水出口は EHI-3866SG・EHIF-3866SG にあります。 2ページ

補助熱交排水栓

2 閉める
機種により位置が異なります。 12ページ

減圧水出口排水栓(※3)

(機器後面)

2 減圧水出口(※4)
閉める
減圧水出口排水栓

水フィルタ(※1)

2 取付ける



逃し弁のレバー(※2)

2 下げる



水フィルタ(※1)

2 取付ける



減圧水出口排水栓(※3)

2 減圧水出口(※4)
閉める
減圧水出口排水栓

中和器排水栓

2 閉める
機種により位置が異なります。 11ページ



補助熱交排水栓

2 閉める



缶体排水栓(バルブ)

1 閉める



給水元栓

3 開ける



缶体排水栓(バルブ)

1 閉める



中和器排水栓

2 閉める



お知らせ

●凍結した状態でリモコンの運転スイッチを「入」にするとエラーコード「661」を表示することがあります。 30・31ページ

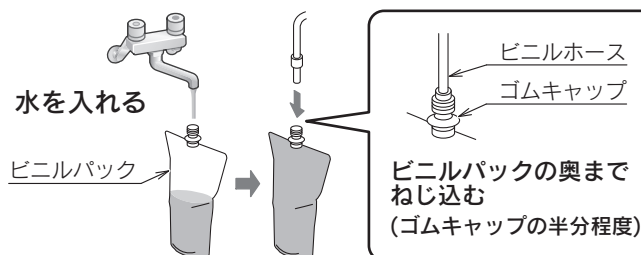
中和器への呼び水 (強制給排気タイプのみ **2ページ**)

⚠ 注意

- この作業は、室内への排ガス漏れを防ぐために重要です。
機器内の水を抜いたときは、必ず運転前に行ってください。
呼び水をせずに機器を運転すると、警報になり運転することができません。

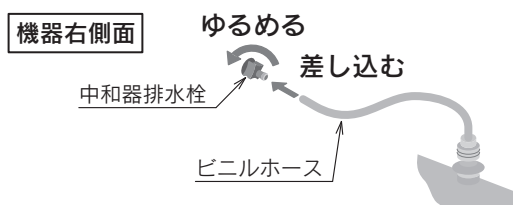
1 ビニルパックに水を入れる

1. ビニルパックが満杯になるまで水を入れる。
2. ビニルホース(ゴムキャップ付)のゴムキャップを水が漏れないように奥まで(ゴムキャップの半分程度)ねじ込む。



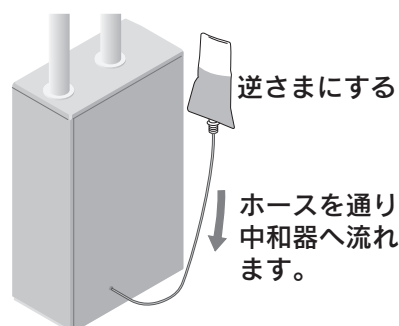
2 ビニルホースを機器に接続する

機器右側面の中和器排水栓(**11ページ**)を反時計回りに1回転ゆるめ、ビニルホースを差し込んでください。



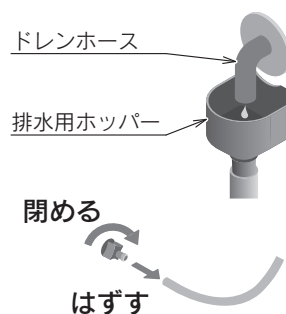
3 呼び水をする

ビニルパックを機器の上の高さまで持ち上げて逆さまにしてください。
中和器排水栓から中和器へ呼び水が行われます。



4 呼び水完了

ビニルパックの水がなくなったら終了です。
(水の量が多いと、ドレンホースから水が出ることがありますが異常ではありません。
中和器排水栓を元通りに閉めて、ビニルホースをはずしてください。
使用したビニルパックとビニルホースはなくさないように保管してください。
機器内には保管しないでください。



冬期の凍結による破損防止について

凍結したとき

給湯栓を開けてもお湯も水も出ません。自然解凍するまでお待ちください。
解けて水が出るまでは、以下の手順に従ってください。

1 給水元栓を閉める

2 リモコンの運転スイッチを「切」にする

※運転スイッチが「入」のとき

3 ときどき、給水元栓を開けてから給湯栓を開ける

〈じゃ口から水が出ない場合〉

まだ凍結しています。給湯栓と給水元栓を閉め、時間をおいて再度**3**を行ってください。

〈じゃ口から水が出た場合〉

給湯栓を閉めて**4**を行ってください。

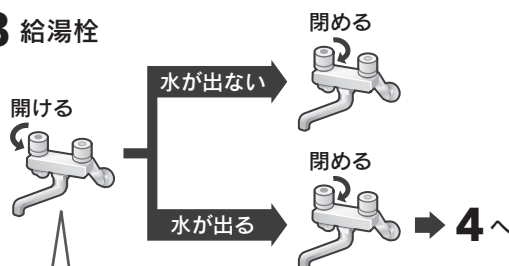
4 すべての混合水栓の給水栓と給湯栓を閉め、水道メーターが回っていないことを確認する

給水・給湯配管が凍結すると、配管や給水元栓が破損することがあります。

水道メーターが回っている場合は水漏れの可能性がありますので、お買い求めの販売店にご連絡ください。

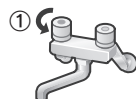
5 「点火前の準備と確認」(15ページ)とリモコンに付属している取扱説明書に従って使用する

3 給湯栓



●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいにする

②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

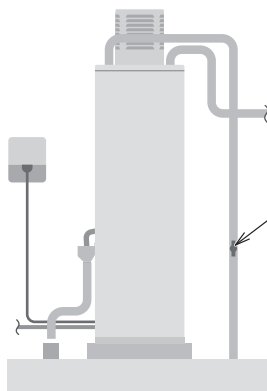
①最高温度にする

②給湯栓を開ける



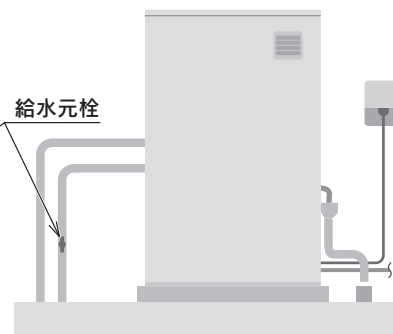
イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

前面排気タイプ以外



イラストは無煙突タイプです。

前面排気タイプ



長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は「冬期の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。17ページ

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意



注意

- 運転音の確認以外は必ず運転を停止し、機器が冷めてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 金属部に充分注意してください。けがの原因になることがあります。
- 手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

点検・手入れの必要事項、時期、方法

毎日

油漏れ、油のたまり、油のにじみ

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などから油漏れ、油のたまり、油のにじみがないことを確認してください。

周囲の可燃物

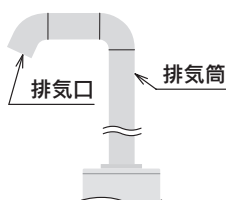
機器・排気筒・給排気筒・排気部・拡散排気筒・油タンクの周囲に引火性危険物や燃えやすいものがないことを確認してください。

排気筒・給排気筒・拡散排気筒の接続部の緩み、外観

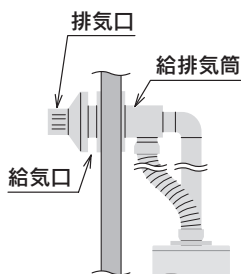
排気筒・給排気筒の接続部分や拡散排気筒に緩みがないことを確認してください。

緩んでいるときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

強制排気タイプ



強制給排気タイプ



無煙突タイプ

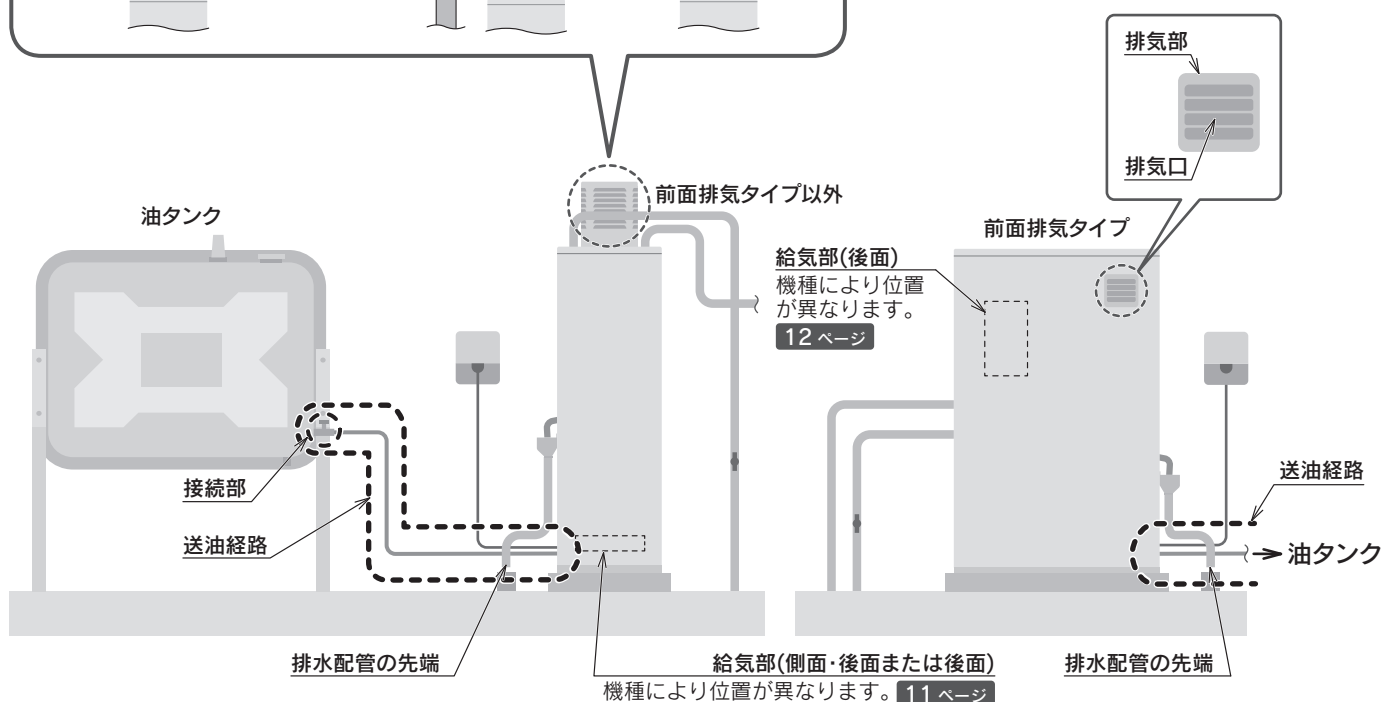


機器外観

- 給気口・排気口・給気部・排水配管の先端ゴミやほこりでふさがれていないことを確認してください。
- 外装部分的に変色していないこと、また錆びて穴が開いていないことなどを確認してください。

運転音

運転中に機器から異常な音がしていないことを確認してください。



日常の点検・手入れ

適時に

積雪時の注意

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



リモコン

- 水や化学ぞうきんなどを使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になります。また、塩素系カビ洗浄剤や酸性浴室用洗剤は使用しないでください。変色などの原因になります。

水フィルタの掃除 ※ EHI-3866F・EHI-3866Sにはありません。

水フィルタにゴミがたまるとお湯が出にくくなりますので、定期的に掃除をしてください。

1 給水元栓を閉める

2 屋内の給湯栓を 1 箇所開ける

3 水フィルタをゆっくりはずし、掃除する

水が出ますので、機器を屋内に設置している場合は受皿などに準備して受けてください。
(出てくる水の量は機器内の残水や配管などの条件によって異なります。)

掃除は歯ブラシなどを使用してください。フィルタを変形させたり、Oリングやゴムパッキンに傷をつけたりしないように注意してください。

4 水フィルタを元通りに取付ける

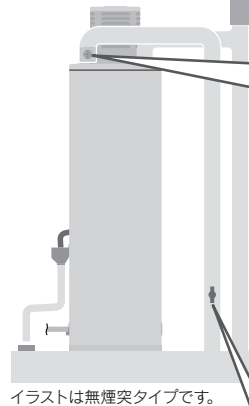
5 給水元栓を開ける

6 給湯栓から水が連続的に出てきたら、給湯栓を閉める

はじめは空気混じりの水が出ます。

7 水フィルタから水漏れがないことを確認する

前面排気タイプ以外



イラストは無煙突タイプです。

水フィルタ

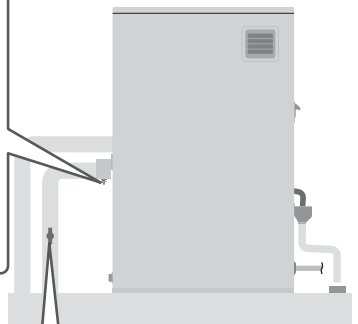
3 はずす

4 取付ける

7



前面排気タイプ



給水元栓

1 閉める

5

開ける



給湯栓

2

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける / 閉める

6

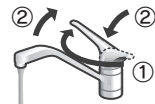
①



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいにする

②給湯栓を開ける / 閉める



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける / 閉める

①



イラストはイメージです。
水栓メーカーにより形状が異なります。

水漏れ

機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。

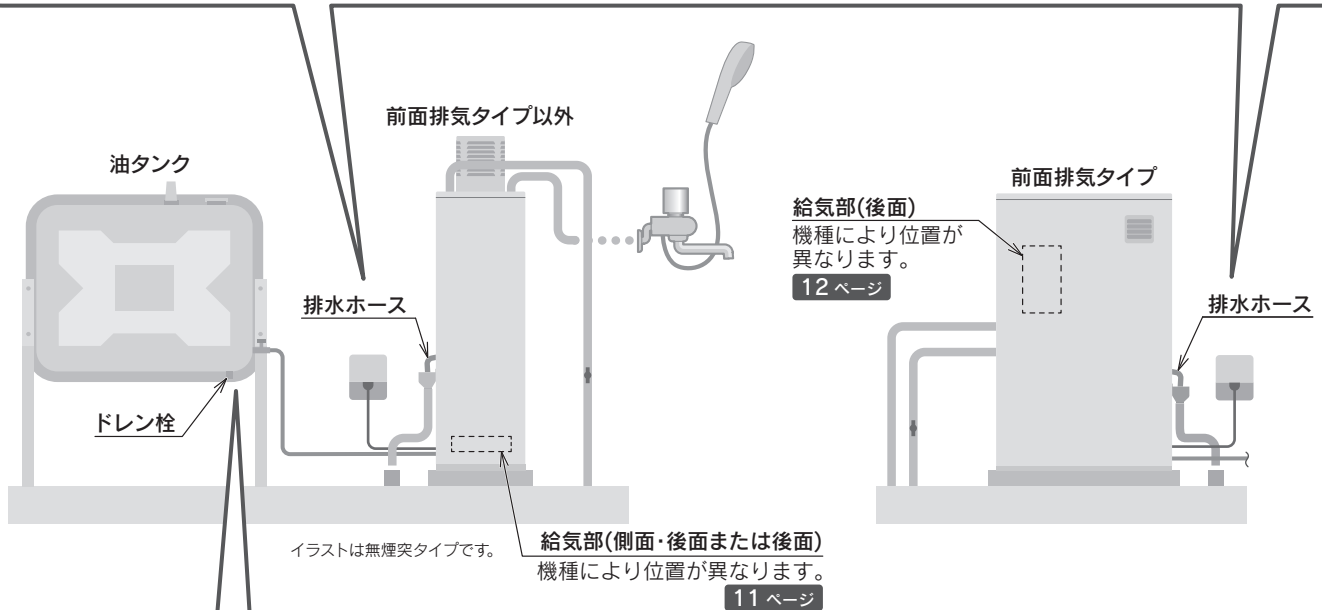
1年に1回以上

ほこり

機器外面のほこりや汚れは、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。
特に機器後面の給気部にたまったほこりをふきとってください。

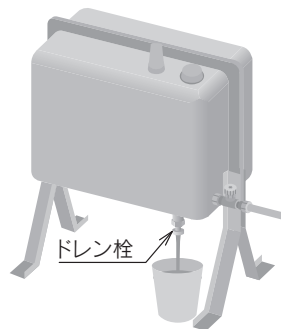
排水ホースの確認

バーナーが燃焼していない状態で、排水ホースから水が出ていないことを確認してください。
(燃焼中または燃焼後約1分間は水が出ることがありますが、異常ではありません。)
常に水が出ている場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。



油タンク

油タンクの底に結露した水がたまります。ドレン栓を開けて抜きとってください。
(ドレン栓の形状はタンクによって異なります。)



油ストレーナ(機器内部)の点検

油ストレーナに水やゴミがたまることがあります。点検には分解作業が必要ですので、お買い求めの販売店に依頼してください。

ゴム製送油管の点検・交換のめやす

(強制給排気タイプ・強制排気タイプで屋内設置の場合)
2 ページ

屋内に設置してゴム製送油管を使用している場合、ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しいものに交換することをおすすめします。交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。

日常の点検・手入れ

1年に1回以上

給湯熱交換器の掃除

給湯熱交換器に湯あかがたまるとお湯の沸き上げに時間がかかりますので、定期的に掃除してください。

- 1 リモコンの運転スイッチを「切」にする
- 2 給湯栓を開け、じゃ口から出るお湯が水になったら閉める
出始めのお湯は熱いことがあります。やけどに注意してください。
- 3 電源プラグを抜く
- 4 給水元栓を閉める
- 5 機器の缶体排水栓(バルブ)・補助熱交排水栓(※1)・屋内の給湯栓を1箇所開ける
中和器排水栓は開けないでください。
- 6 水フィルタ(※1・※2)をはずし給湯熱交換器内の水を排水する
〔水フィルタがついていない機種(※3)は逃し弁のレバーを上げる〕
- 7 水フィルタ(※2)を取付け、補助熱交排水栓を閉める
〔水フィルタがついていない機種(※3)は逃し弁のレバーを下げる〕
- 8 給水元栓を開ける
- 9 缶体排水栓(バルブ)からきれいな水が出てきたら、缶体排水栓(バルブ)を閉める
- 10 給湯栓から水が連続的に出てきたら、給湯栓を閉める
はじめは空気混じりの水が出ます。
- 11 電源プラグを差し込む

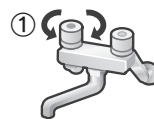


給湯栓

2
5
10

●2ハンドル混合水栓

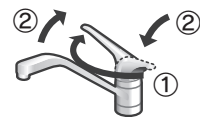
①給湯栓を開ける / 閉める



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱい回す

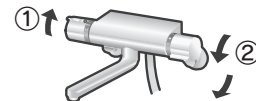
②給湯栓を開ける / 閉める



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける / 閉める



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

※1 水が出ますので、機器を屋内に設置している場合は受皿などを準備して水を受けてください。

(出てくる水の量は機器内の残水や配管などの条件によって異なります。)

※2 水フィルタはEHI-3866FとEHI-3866S以外についています。 **2ページ**

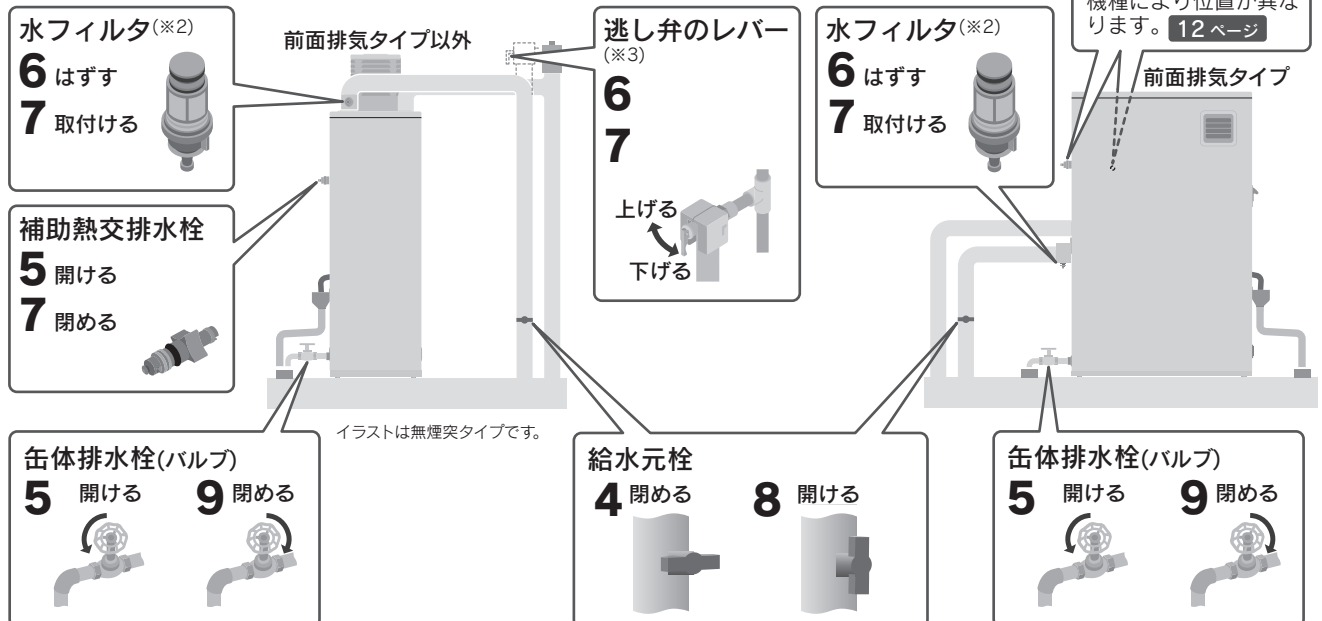
※3 EHI-3866F・EHI-3866S

補助熱交排水栓

5 開ける

7 閉める

機種により位置が異なります。 **12ページ**



定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。
(定期点検は有料です。)

法定点検

- この機器は消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。
(製品の所有者などの責務：消安法第32条の14)
- この機器の設計標準使用期間10年の前後それぞれ1年間(製造後9年から11年)を法定点検時期と設定しています。
ご登録いただいた所有者情報に基づき、法定点検期間の直前に弊社より点検通知を送付いたしますので、添付のはがき(所有者票)に必要事項をご記入のうえ、必ず返送してください。
- 詳しくは「特定保守製品についての説明書」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。

シャワーやジャロ	
こんなときは	確認してください
お湯も水も出ない	●断水していませんか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●配管が凍結していませんか。凍結が解消するまでお待ちください。 20ページ
給湯栓を開けてもお湯が出ない お湯の出が悪い	●燃料切れしていませんか。給油してください。 13ページ ●リモコンの運転スイッチが「入」になっていますか。 ●水フィルタにごみなどがつまっていますか。掃除してください。 22ページ ●給湯栓のフィルタにごみなどがつまっていますか。掃除してください。 ●サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高くするとシャワーの勢いが強くなります。
お湯が出なくなった	●燃料切れしていませんか。給油してください。 13ページ ●安全装置の作動が考えられます。 28ページ ●リモコンにエラーコードを表示している場合は「エラーコード」に従って処置を行ってください。 30・31ページ ・対震自動消火装置の場合 「100」を表示します。 ・燃焼制御装置の場合 「110」・「120」・「130」のいずれかを表示します。 「130」を表示した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。 ・過熱防止装置の場合 「150」・「151」・「160」のいずれかを表示します。この場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
停電後、復帰したのにお湯が出ない	●停電すると運転は停止し、リモコンの運転スイッチが「切」になります。停電復帰後は、リモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。
給湯栓を開けてもすぐにお湯にならない	●配管内に残っている水が出てくることがあります。お湯が出るまでしばらくお待ちください。 ●リモコンのECOスイッチを「入」にしているときは、しばらくお湯を使用していない状態が続いた後にお湯を使用すると、設定温度のお湯になるまで時間がかかることがあります。 (※1)
お湯がぬるい (設定した温度にならない)	●リモコンの給湯温度はめやすです。配管の放熱により、設定温度よりも低くなる場合があります。 ●サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、お湯の温度を安定させるため、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約10℃高めにして使用してください。 (バーグラフ表示の場合は「バーグラフ表示の給湯温度のめやす」参照 リモコン取扱説明書参照) ●1箇所の混合水栓のみお湯の温度がおかしいときは、混合水栓故障の可能性もあります。
リモコンのECOスイッチが「入」のときに給湯温度を上げても設定した温度にならない (お湯がぬるい) (※1)	●太陽熱温水器を接続している場合、太陽熱温水器のお湯の温度によっては、バーナーが燃焼しないことがあります。この場合はリモコンのECOスイッチを「切」にして使用してください。
お湯の温度が上下したり水になったりする お湯の量が増減する	●次の場合が考えられます。 ・お湯を出したり止めたりをくり返したとき。 ・2箇所以上でお湯を使用したとき。 ・水道の圧力が変動していたとき。
低温のお湯が出ない	●水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもう少し開けて水と混ぜて使用してください。
高温のお湯が出ない	●給湯温度の設定が低くなっていますか。
給湯温度が変更できない	●操作しているリモコンが優先になっていますか。優先を切換えてください。
お湯が白く見える	●水に溶けていた空気が機器内で加熱され、温度や水圧などの条件が重なったときに、細かい気泡となって出てくる自然現象です。ビールの泡のようなもので、体には無害です。

※1 音声リモコンの場合 **2ページ**

	こんなときは	確認してください
シャワーやじゃ口	浴そうやお湯(水)が青く見える	●光の波長の関係で浴そうやお湯(水)が青く見えることがあります。
	浴そうや洗面用具などが青くなる	●配管(銅配管)から溶け出したわずかな銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応して浴そうや洗面用具などが青くなることがありますが、異常ではありません。(使いはじめに発生しやすく、時間の経過とともに発生しにくくなります。汚れを放置すると取れにくくなるので、こまめに掃除してください。汚れが取れにくい場合は、中性洗剤を使用するか、つけ置き洗いをすると効果的です。その後、水で十分に洗い流してください。)
機器	排気口から湯気が出る	●排ガス中の水蒸気が、冷たい外気に触れて白く見えることがあります。異常ではありません。
	燃焼表示が消えてもしばらくの間機器から音が出る	●燃焼室内の排ガスを排出するため、送風機がしばらくの間動きます。
	排水ホースからお湯(水)が出る	●燃焼中は上昇した機器内の圧力を逃がすときにお湯が出ます。 ●この機器は高効率型ですので、燃焼中は機器内で発生した凝縮水が出ます。
	燃料を切らした後、給油しても火がつかない	●「燃料切れをしたときは」に従って、送油経路の空気抜きを行ってください。 13ページ
リモコン	何も表示しない 運転スイッチが「入」にならない	●停電していませんか。 ●電源プラグが差し込まれていますか。 ●その他の装置(電流ヒューズ)の作動が考えられます。 28ページ 電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	表面が熱く感じる	●使用中は表示画面が点灯しますので、熱く感じる場合があります。リモコンの運転スイッチを「切」にしても電子回路が動いているので熱く感じる場合があります。
	スイッチ操作ができない (※1)	●チャイルドロックが設定されていませんか。 リモコン取扱説明書参照
	表示画面が省エネモードにならない 表示画面のバックライトが暗い、または消灯している	●「表示画面省エネモード」の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照
	音声案内をしない、または小さくなった(※1)	●「音声ガイド音量」の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照 ●スピーカーに水がたまると音声小さくなる場合があります。水をふきとってください。
	操作音がしない、または小さくなった	●「操作音量」(※1)または「操作音」(※2)の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照
	操作していないのに音が出る	●他のリモコンで給湯温度を変更したときなど、操作していないリモコンからも音声やブザーでお知らせすることがあります。
	表示画面の色が変化する	●表示画面を正面以外から見ると表示色が変わって見える場合があります。また表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
	表示画面の切り替わりが遅い	●気温が下がると表示の切り替わりが遅くなる場合があります。
	時計を表示しない	●現在時刻を設定してください。 リモコン取扱説明書参照

※1 音声リモコンの場合 **2ページ**

※2 カンタンリモコンの場合 **2ページ**

故障かな？と思ったら

安全装置

安全装置	はたらき
対震自動消火装置	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して運転を停止します。
燃焼制御装置	バーナーが点火しないとき・使用中に炎が消えたとき・異常な燃焼をしたときに作動して運転を停止します。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたときに作動して運転を停止します。
過熱防止装置	機器内のお湯の温度が異常に上昇したときに作動して運転を停止します。

その他の装置

その他の装置	はたらき
凍結予防装置 (EHI-3866S・EHI-4566S) (は除く)	機器内の給水経路が凍結しないように、凍結予防ヒータが作動して凍結を予防します。 凍結のおそれがなくなると、凍結予防ヒータは停止します。
電流ヒューズ	万一内部配線のショートや部品の故障などで過電流が流れたときに、作動して運転を停止します。
送風機ヒューズ	
圧カスイッチ (強制給排気タイプ・高圧) (力型のみ 2ページ)	強制給排気タイプの場合は、中和器に水がない、または少ないときにエラーコードを表示してお知らせします。 高圧力型の場合は、断水などで機器内の圧力が低下すると作動して運転を停止します。
中和器つまり検知装置	中和器や配管がつまり、ドレン水の排出ができなくなると、エラーコードを表示してお知らせします。
油切れ予告装置 (別売部品)	リモコンに灯油の残量を表示し(※)少なくなると、エラーコードを表示してお知らせします。

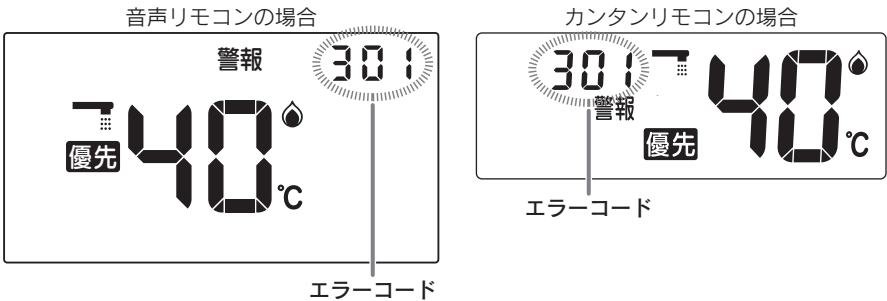
※灯油の残量を表示しないタイプもあります。 [14ページ](#)

●このページは空白です。

故障かな？と思ったら

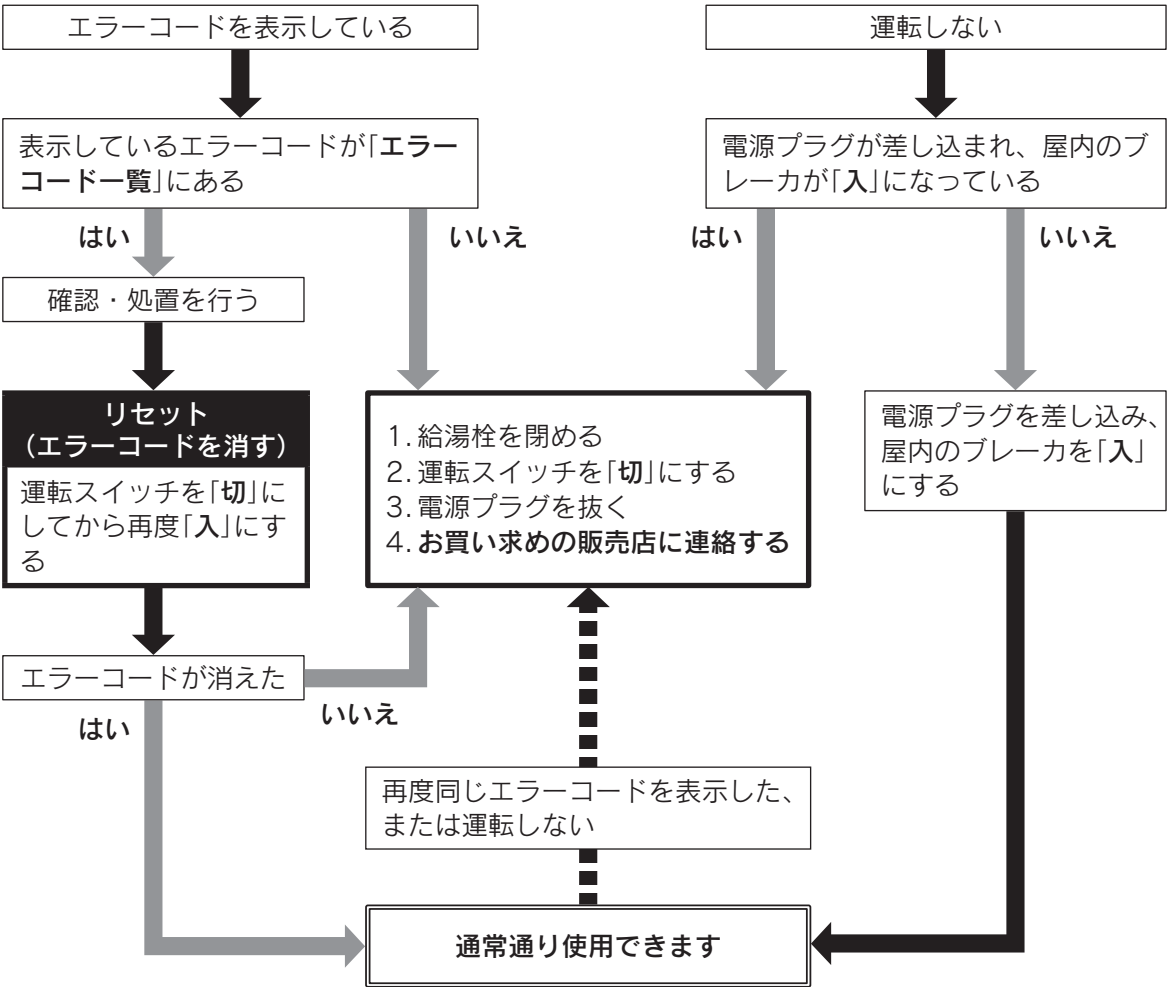
エラーコード 異常・故障の場合はリモコンにエラーコードを表示します。

エラーコード表示位置 表示画面(部)は説明のためのもので実際とは異なります。



リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき

●以下の処置を行ってください。



エラーコード一覧

●記載がないエラーコードを表示したときは、使用を中止してお買い求めの販売店にご連絡ください。
 (「リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき」参照。 **30ページ**)

エラーコード	説明	確認・処置
090	接続している太陽熱利用給湯システムの異常を検知した (警告表示)	太陽熱利用給湯システムの取扱説明書に従って処置してください。
100	地震や強い振動・衝撃があった	機器および周囲に異常がないことを確認してください。
110	着火できない	油タンクに灯油があることを確認してください。 油タンクの送油バルブが充分開いていることを確認してください。
120	燃焼中に火が消えた	(燃料切れをしていた場合は、給油後リセットを2、3回行ってください。約8回リセットを繰り返すと、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。 13ページ)
260	機器に呼び水する前にリモコンの運転スイッチを「入」にした	リモコンの運転スイッチを「切」にして、「中和器への呼び水」を行ってください。 19ページ
261	機器に給水する前にリモコンの運転スイッチを「入」にした	機器に給水した後、給湯栓から水が出ることを確認してください。
661		機器に給水した後、電源プラグを差し直してください。
290	ドレン水が排水できない	ドレンホースが凍結やゴミでふさがれていないことを確認してください。 (凍結している場合は、自然解凍を待ってください。)
301	外気温を検知できない (警告表示)	機器の使用はできますが、凍結予防装置が作動しません。 お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。 凍結のおそれがあるときは「 じゃ口から水を流す方法 」を行ってください。 16ページ
480	油切れ予告装置の異常を検知した (警告表示) (別売のOC-5を取付時)	油切れ予告装置の故障や断線が考えられます。 使用できますが、お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。 別売の「 油切れ予防装置 OC-5 」を取付けていないのに、エラーコード「 480 」が表示されたときは設定を解除してください。 32ページ
740 750 760	通信異常	電源プラグを差し直してください。 (リセットの必要はありません。 30ページ)
830	灯油の残量が少ない (警告表示) (別売のOC-5またはOC-31) を取付時	油タンクに給油してください。
888	設計標準使用期間経過 (警告表示)	10年相当ご使用されたため、「 点検時期をお知らせする機能 」が働いてお知らせをしています。(故障ではありません。) 使用はできますが、安全のためお早めに点検(有料)を受けてください。 連絡先: 株式会社長府製作所 ☎ 電話 0120-921-971 (通話料無料) 受付時間: (平日) 9:00~18:00 ※年末年始を除く
920	中和器寿命(警告表示)	しばらくは使用できますが中和器の交換が必要です。 33ページ お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。

■警告表示について

エラーコードを表示していても機器は使用できますが、すみやかに確認・処置を行ってください。

運転中に誤作動したときは

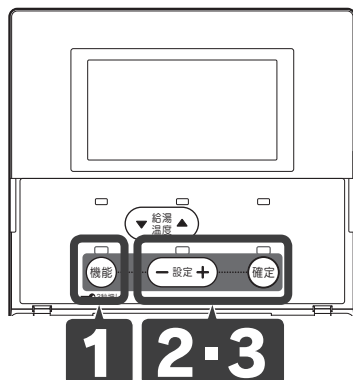
●万一運転中に雷、自動車無線などで誤作動したり、動かなくなったときは電源プラグをコンセントから抜き、数秒後に再度差し込み、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

故障かな？と思ったら

油切れ予告装置異常「480」が表示されたときの解除方法

音声リモコンの場合

台所リモコン



1 機能を押す

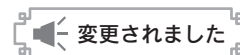
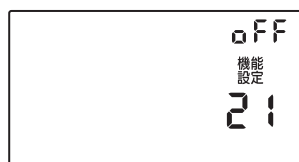
2 設定+を押して機能設定「21」を選び 確定を押す

3 設定を押して「oFF」を選び 確定を押す

設定内容

oFF ← 0 ← 2 ← 4~116 ← 118 ← 120

1回押すと2cm単位、押し続けると10cm単位で変わります。



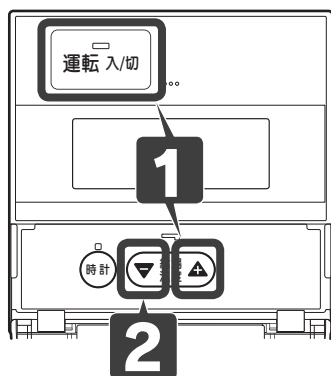
お知らせ

- 設定を途中でやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

ふたを閉じると通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

カンタンリモコンの場合

台所リモコン



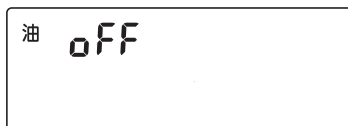
1 運転入/切と▲を同時に約5秒間押す

2 ▼を押して「oFF」を選ぶ

設定内容

oFF ← 0 ← 2 ← 4~116 ← 118 ← 120

1回押すと2cm単位、押し続けると10cm単位で変わります。



運転スイッチを押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず当社純正部品を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

強制給排気タイプの場合 **2ページ**

- 給排気筒のOリングは、「4種D(フッ素) (JIS B2401) P70」を使用しています。

中和器について

- 中和器の寿命が近づくとエラーコード「920」を表示し、中和器の交換時期をお知らせします。
- 中和器の寿命が過ぎるとエラーコード「930」を表示し、運転を停止します。
この場合は中和器を交換しないと運転できません。お買い求めの販売店に交換を依頼してください。
同時に機器の点検をおすすめします。

仕 様

型名				EHI-3866F	EHI-3866S	EHI-3866SG	EHIF-3866SG		
型式の呼び				EHI-386			EHIF-386		
種類				圧力噴霧式・貯湯式急速加熱形・家庭用					
				水道直結式(減圧弁・逃し弁必要)			水道直結式(減圧弁・逃し弁内蔵)		
				屋内用密閉式強制給排気形	屋外用開放形・屋内外用半密閉式強制排気形		屋外用開放形		
点火方式				高圧放電式					
使用燃料				灯油(JIS1号灯油)					
燃料消費量				39.8kW(3.87L/h)					
連続給湯効率				95.0%					
連続給湯出力				37.8kW(32,500kcal/h)					
給湯量(※)		お湯の温度	45℃	1,300L/h					
			50℃	1,080L/h					
			60℃	810L/h					
			75℃	590L/h					
熱交換器容量				14.5L(主熱交：11.5L　補助熱交：3.0L)					
使用圧力（最高使用圧力）				0.1MPa(1.0kgf/cm ²)					
伝熱面積				1.12m ² (主熱交：0.84m ² 補助熱交：0.28m ²)					
外形寸法				高さ 916mm 幅　256mm 奥行 515mm			高さ 906mm 幅　550mm 奥行 277mm		
質量(満水時)				28kg(42kg)		29kg(43kg)	33kg(47kg)		
電源電圧及び周波数				100V　50/60Hz	100V　60Hz	100V　50/60Hz			
定格消費電力				点火時：100/100W 燃焼時：　80/　75W	点火時：100W 燃焼時：　75W	点火時：100/100W 燃焼時：　75/　75W			
待機時消費電力				音声リモコンの場合　　　：1.9W カンタンリモコンの場合：1.8W					
排気温度				260℃以下					
排気筒の呼び径				—	100		—		
給排気筒の型式の呼び				FF-70-092	—				
給排気筒の呼び径				D70	—				
給排気筒の壁貫通部の孔径				120mm	—				
騒音レベル				44dB(室内・正面)	45dB				
電流ヒューズ				10A					
送風機ヒューズ				3A					
安全装置				対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置					
その他の装置				電流ヒューズ・送風機ヒューズ・中和器つまり検知装置・油切れ予告装置(別売部品)					
				凍結予防装置 圧カスイッチ	—	凍結予防装置			
付属品				排水用ホッパー・転倒防止金具・取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋					
				プラグ(1/2)・膜付グロメット					—
				ビニルバック・ビニルホース タッピンねじ・ゴム製送油管 送油管接続パイプ 抜け防止金具 給排気筒一式(別梱包)	送油管		送油管・給水口保温材		
区分名(省エネ法)				B					
エネルギー消費効率				95.0%					

※水道水の温度が20℃のとき沸き上げ可能な最大量のめやすです。給湯量は給水温度・混合水栓・配管などの条件より変動します。

型名			EHI-4566S	EHI-4566SG	EHI-4566SGH	EHIF-4566SG	EHIF-4566SGH
型式の呼び			EHI-456			EHIF-456	
種類			圧力噴霧式・貯湯式急速加熱形・家庭用				
			シスターン式 水道直結式 (減圧弁・逃し弁必要)	水道直結式(減圧弁・逃し弁内蔵)			
			屋外用開放形・屋内外用半密閉式強制排気形			屋外用開放形	
点火方式			高圧放電式				
使用燃料			灯油(JIS1号灯油)				
燃料消費量			47.7kW(4.64L/h)				
連続給湯効率			95.0%				
連続給湯出力			45.3kW(39,000kcal/h)				
給湯量(※)	お湯の温度	45℃	1,560L/h				
		50℃	1,300L/h				
		60℃	975L/h				
		75℃	720L/h				
熱交換器容量			17.0L(主熱交：13.8L 補助熱交：3.2L)				
使用圧力(最高使用圧力)			0.1MPa(1.0kgf/cm ²)	0.2MPa (2.0kgf/cm ²)	0.1MPa (1.0kgf/cm ²)	0.2MPa (2.0kgf/cm ²)	
伝熱面積			1.14m ² (主熱交：0.86m ² 補助熱交：0.28m ²)				
外形寸法			高さ 933mm 幅 300mm 奥行 591mm			高さ 929mm 幅 590mm 奥行 300mm	
質量(満水時)			37kg(55kg)	38kg(56kg)	39kg(57kg)		40kg(58kg)
電源電圧及び周波数			100V 60Hz	100V 50/60Hz			
定格消費電力			点火時：105W 燃焼時： 80W	点火時：110/105W 燃焼時： 85/ 80W		点火時：110/105W 燃焼時： 80/ 75W	
待機時消費電力			音声リモコンの場合 ：1.9W カンタンリモコンの場合：1.8W				
排気温度			260℃以下				
排気筒の呼び径			100			—	
給排気筒の型式の呼び			—				
給排気筒の呼び径			—				
給排気筒の壁貫通部の孔径			—				
騒音レベル			45dB				
電流ヒューズ			10A				
送風機ヒューズ			3A				
安全装置			対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置				
その他の装置			電流ヒューズ・送風機ヒューズ・中和器つまり検知装置・油切れ予告装置(別売部品)				
			凍結予防装置	凍結予防装置 圧力スイッチ	凍結予防装置	凍結予防装置 圧力スイッチ	
付属品			排水用ホッパー・転倒防止金具・送油管・取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋				
			給水口保温材				
区分名(省エネ法)			B	—	B	—	
エネルギー消費効率			95.0%	—	95.0%	—	

据付け

据付工事は販売店に依頼する

- 据付けや移動工事は買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

- 据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、買い求めの販売店または据付業者とよくご相談ください。
また、「標準据付例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

- 設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

転居または機器を移設するとき

- 転居するときは買い求めの販売店にご相談ください。
- 移設は買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付け後の確認

- 据付けが終わりましたら、工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据付けられていることをもう一度確認してください。

試運転

- 工事説明書の「試運転」に従って行ってください。

長府石油瞬間給湯器 保証書(販売店様控)
長府高圧力型石油瞬間給湯器

型 名	EHI-3866F・EHI-3866S・EHI-3866SG・EHI-4566S・EHI-4566SG EHIF-3866SG・EHIF-4566SG EHI-4566SGH EHIF-4566SGH		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販 売 店	住所・店名 電話 ()
★お 客 様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1)保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、保証書(販売店様控)は切り取り線より切り取って保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2)保証書(販売店様控)に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

長府石油瞬間給湯器 保証書(お客様控)

長府高圧力型石油瞬間給湯器

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より表記期間中、本書記載内容に従って無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

型 名	EHI-3866F・EHI-3866S・EHI-3866SG・EHI-4566S・EHI-4566SG EHIF-3866SG・EHIF-4566SG EHI-4566SGH EHIF-4566SGH		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販売店	住所・店名 電話 ()
★お客様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏表紙記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 住宅用途以外で使用した場合の不具合
- (2) 使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
- (3) 一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
- (4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
- (5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
- (6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (8) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
- (9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
- (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
- (11) 給水・給湯・ふろ・暖房配管等の錆や異物流入に起因する不具合
- (12) 温泉水を給水したことに起因する不具合
- (13) 地下水・井戸水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する不具合
高圧力型は上水道以外を給水したことに起因する不具合
- (14) 公害による不具合
- (15) 電気・水・燃料等の供給トラブルに起因する不具合
- (16) 指定規格以外の電気・燃料・熱媒等を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 長府製作所 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 ☎(083)248-1111

アフターサービス

修理を依頼するとき

- 「故障かな？と思ったら」[26～31ページ](#)をもう一度確認していただき、直らないときは保証書(前ページ)に記載の**お買い求めの販売店にご連絡ください。**

- 修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。
- 修理料金は①技術料+②部品代+③出張料などで構成されています。
 - ①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
 - ②修理に使用した部品代金です。
 - ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

品名	石油瞬間給湯器 高圧力型石油瞬間給湯器
型名	機器の前パネルの銘板に記載されています。 2ページ
故障の状況	できるだけ詳しく
お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日	

保証・修理について

- この機器には「保証書」がついています。正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 家庭用の給湯以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結や析出物(炭酸カルシウムなど)による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後11年です。
性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

一般のお客様から
のお問い合わせは、
フリーダイヤルへ



0120-925-339
携帯電話からは **0570-666-339**
(通話料金がかかります)

お客様から取得いたしました個人情報
は、お客様へのお問い合わせ対応を目的
として利用し、適切に管理します。
修理業務等を委託する場合や正当な理
由がある場合を除き、第三者に開示・
提供いたしません。

※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関する
お問い合わせ

24時間365日受付

商品に関する
お問い合わせ

平日 8:00～19:00
土日祝 8:00～17:00

愛情点検



こんな症状は
ありませんか

- 水漏れや油漏れがある。
- 煙が出たり、灯油の臭いがする。
- 運転中にこげくさい臭いがする。
- 異常な音や振動がする。
- その他の異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、運転を停止して
電源プラグを抜き、送油バルブと給水元
栓を閉めて、お買い求めの販売店に点検
・修理を依頼してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所



本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1